

平成30年度  
京都府公立大学法人決算

令和元年6月  
京都府公立大学法人



# 平成30年度決算の概要

## ■ 貸借対照表の概要

【単位：百万円】

資産の部		負債の部	
固定資産	35,351	固定負債	19,652
土地	57	資産見返負債	7,307
建物、構築物(仮勘定を含む)	24,812	長期借入金	12,310
機械及び装置	3,958	長期リース債務等	35
工具・器具及び備品	2,991	流動負債	10,923
図書	1,771	寄附金債務	2,003
ソフトウェア(仮勘定を含む)	1,162	前受受託研究費・受託事業費	730
投資有価証券	120	未払金	6,539
投資その他の資産等	477	賞与引当金	584
流動資産	12,825	その他	1,065
現金及び預金	4,867	負債合計	30,576
未収入金	7,459	純資産の部	
医薬品及び診療材料	426	資本金	36,406
たな卸資産	29	資本剰余金	△ 17,917
その他	43	繰越欠損金	△ 887
資産合計	48,177	純資産合計	17,601
		負債・純資産合計	48,177

### 建物、構築物(仮勘定を含む) 248億1千2百万円(19億8千5百万円増)

最先端がん治療研究センター現物出資に伴う増(2,589)  
 附属病院D3精神科病棟改修工事に伴う増(498)  
 府立大学和食文化学科開設に係る改修に伴う増(147)  
 附属病院手術室増室工事費の増(90)  
 減価償却累計額の増(△1,609)

### 機械及び装置 39億5千8百万円(38億3千3百万円増)

最先端がん治療研究センター陽子線治療装置の譲与に伴う増(3,859)

### ソフトウェア(仮勘定を含む) 11億6千2百万円(8億4百万円増)

附属病院電子カルテシステム整備による増(746)  
 北部医療センター電子カルテシステム整備による増(389)  
 減価償却による減(△331)

### 現金及び預金 48億6千7百万円(13億9千7百万円増)

府借入金の借入れによる現金の増(1,763)  
 府借入金の償還のための現金の減(△426)

### 未収入金 74億5千9百万円(1億3千万円減)

附属病院診療実績増に伴う診療収益未収金の増(159)  
 周産期医療提供体制整備事業費補助金未収入金の減(△190)

### 長期借入金 123億1千万円(20億7千4百万円増)

電子カルテシステム整備、D3精神科病棟整備に伴う府借入金の増(2,613)  
 府借入金償還による減(△384)

### 繰越欠損金 △8億8千7百万円(△6億1千1百万円増)

当期総損失の増(△611)

■ 損益計算書の概要

【単位：百万円】

経常費用		経常収益	
教育経費	688	運営費交付金収益	8,972
研究経費	1,218	学生納付金収益	2,045
診療経費	20,527	附属病院収益	33,705
教育研究支援経費	287	受託研究等収益等	2,211
受託研究費等	1,853	寄附金収益	811
人件費	24,234	補助金等収益	413
一般管理費	837	資産見返負債戻入	450
財務費用	27	雑益	543
<b>経常費用合計</b>	<b>49,674</b>	<b>経常収益合計</b>	<b>49,154</b>
		<b>経常損失</b>	<b>△ 519</b>
臨時損失	91	臨時利益	0
		目的積立金取崩額	
<b>当期総損失</b>	<b>△ 611</b>		

**運営費交付金 89億7千2百万円(2億2千万円減)**

**附属病院収益 337億5百万円(10億9千9百万円増)**

附属病院：入院診療収益の増(641)

外来診療収益の増(441)

北部医療センター：入院診療収益の減(△90)

外来診療収益の増(98)

**受託研究等収益等 22億1千1百万円(5億4千2百万円増)**

受託研究等収益の増(71)

附属病院精神病棟解体工事(受託事業)による増(107)

北部医療センターがん診療棟整備工事(受託事業)による増(363)

**診療経費 205億2千7百万円(10億1千6百万円増)**

附属病院：医薬品費の増(381)、医療材料費の増(361)

保守委託費等の増(99)

がん治療センター：保守委託費等の増(188)

北部医療センター：医薬品費の増(65)、医療材料費の減(△16)、

減価償却費等の減(△63)

**人件費 242億3千4百万円(2億2百万円増)**

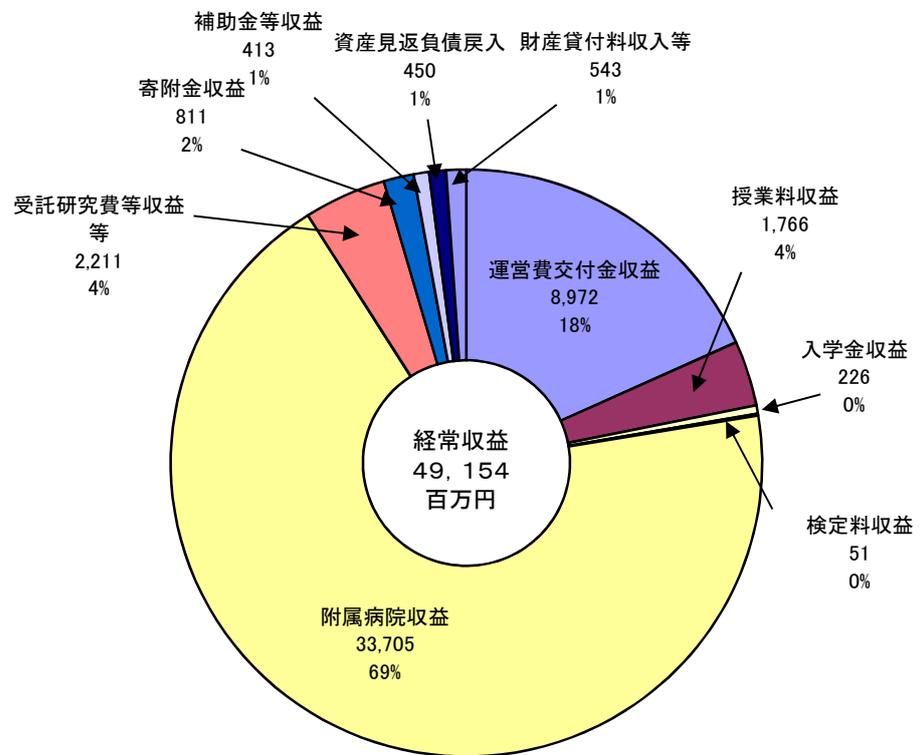
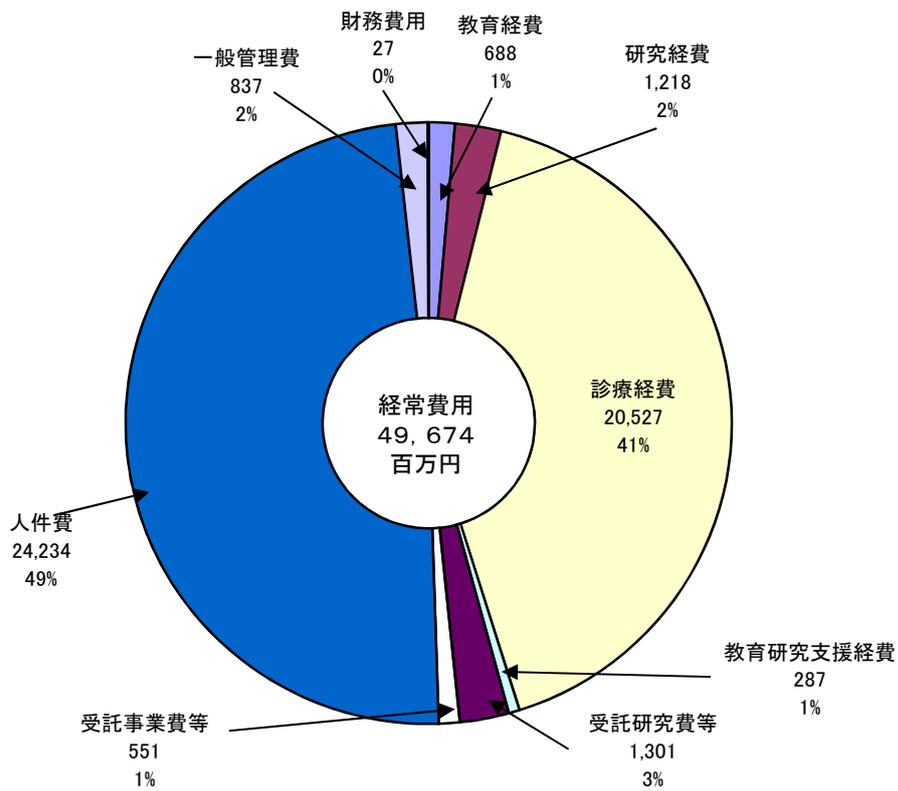
常勤教職員人件費の増(166)

附属病院大学院生人件費の増(85)

退職手当の増(10)

**臨時損失 9千1百万円**

特定共同指導による過年度の診療収益の修正(△91)



平成30年度公立大学法人決算におけるセグメント情報

(単位:百万円)

区 分	法人本部	医科大学	附属病院	がん治療 研究センター	北部医療 センター	府大	合計	
経常費用	業務費	116	6,971	30,436	398	7,377	3,509	48,810
	教育経費		390			8	288	688
	研究経費		895			35	287	1,218
	診療経費			17,044	247	3,235		20,527
				(16,202)	(59)	(3,249)		(19,510)
	教育研究支援経費		172				115	287
	受託研究費		1,185			1	114	1,301
	受託事業費		37	107		394	13	551
	人件費	116	4,289	13,285	150	3,701	2,690	24,234
	一般管理費	77	472				287	837
財務費用		2	23				27	
計	194	7,446	30,460	398	7,377	3,796	49,674	
経常収益	運営費交付金収益	197	3,818	2,093	0	655	2,206	8,972
		(204)	(3,933)	(2,104)	(0)	(625)	(2,325)	(9,192)
	学生納付金収益		827				1,218	2,045
	授業料収益		727				1,038	1,766
	入学金収益		88				138	226
	検定料収益		10				41	51
	附属病院収益			27,631		6,073		33,705
				(26,537)		(6,068)		(32,605)
	受託研究等収益		1,544			1	114	1,659
	受託事業等収益		37	107		394	13	551
	寄附金収益		760				50	811
	補助金等収益		113	189	20	78	10	413
	財務収益							
雑 益		223	173		60	86	543	
資産見返負債戻入		131	101	16	97	103	450	
計	197	7,457	30,297	36	7,362	3,803	49,154	
業務損益	2	10	△ 162	△ 361	△ 15	7	△ 519	
	(1)	(3)	(1)	(△ 111)	(9)	(6)	(△ 88)	
減価償却費(再掲)	13	409	1,171	66	221	122	2,003	
臨時損失			91				91	
		(40)					(40)	
当期総利益 (当期総損失)	2 (1)	10 (△ 37)	△ 254 (1)	△ 361 (△ 111)	△ 15 (9)	7 (6)	△ 611 (△ 129)	

注) 数値については、単位未満切捨により、計が一致しない場合があります。

( ) は、29年度決算額

## セグメントにおける決算比較

(単位:百万円)

		③⑩	②⑨	③⑩－②⑨	増減理由
医科大学	経常費用	7,446	7,443	3	研究経費の増(29) 受託研究費の増(65) 人件費の減(△124)
	経常収益	7,457	7,446	10	運営費交付金の減(△114) 受託研究等収益の増(93) 寄附金収益の増(67)
	<b>経常損益</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	
	臨時損益等	0	△ 40	40	
	<b>当期総利益</b>	<b>10</b>	<b>△ 37</b>	<b>47</b>	
附属病院	経常費用	30,460	29,102	1,357	医薬品費の増(381)、医療材料費の増(361) 保守委託費等の増(99) 人件費(退手除く)の増(225) 退職手当の増(190) 受託事業費の増(107)
	経常収益	30,297	29,104	1,193	入院診療収益の増(641) 外来診療収益の増(441) 受託事業等収益の増(107)
	<b>経常損益</b>	<b>△ 162</b>	<b>1</b>	<b>△ 164</b>	
	臨時損益等	△ 91	0	△ 91	過年度の診療収入請求額の修正(△91)
	<b>当期総利益</b>	<b>△ 254</b>	<b>1</b>	<b>△ 255</b>	
最先端がん治療 研究センター	経常費用	398	144	254	保守委託費等の増(188) 人件費の増(65)
	経常収益	36	32	4	
	<b>経常損益</b>	<b>△ 361</b>	<b>△ 111</b>	<b>△ 250</b>	
	臨時損益等	0	0	0	
	<b>当期総利益</b>	<b>△ 361</b>	<b>△ 111</b>	<b>△ 250</b>	
北部医療センター	経常費用	7,377	7,070	307	医薬品費の増(65)、医療材料費の減(△16) 減価償却費等の減(△63) 人件費の減(△47) 受託事業費の増(363)
	経常収益	7,362	7,080	282	入院診療収益の減(△90) 外来診療収益の増(98) 受託事業等収益の増(363) 資産見返負債戻入の減(△109)
	<b>経常損益</b>	<b>△ 15</b>	<b>9</b>	<b>△ 25</b>	
	臨時損益等	0	0	0	
	<b>当期総利益</b>	<b>△ 15</b>	<b>9</b>	<b>△ 25</b>	
府立大学	経常費用	3,796	3,936	△ 139	教育経費の減(△30) 人件費の減(△105)
	経常収益	3,803	3,942	△ 139	運営費交付金の減(△119)
	<b>経常損益</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	
	臨時損益等	0	0	0	
	<b>当期総利益</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	
法人全体	経常費用	49,674	47,906	1,767	
	経常収益	49,154	47,818	1,336	
	<b>経常損益</b>	<b>△ 519</b>	<b>△ 88</b>	<b>△ 430</b>	
	臨時損益等	△ 91	△ 40	△ 51	
	<b>当期総利益</b>	<b>△ 611</b>	<b>△ 129</b>	<b>△ 481</b>	

注) 数値については、単位未満切捨により、計が一致しない場合があります。

### ⑩経営改善策について

#### ■大学部門

##### ○外部資金の状況

(単位：百万円)

区 分	30年度	29年度	増 減
受託研究	1,324	1,163	161 (113.8%)
共同研究	335	425	△90 (78.8%)
寄附金	811	726	85 (111.7%)
小 計	2,470	2,314	156
科学研究費補助金	878	896	△18 (98.0%)
合 計	3,348	3,210	138

#### ■附属病院

##### ○診療実績

		30年度	29年度	増 減
患者数	入院 (人)	222,041	225,226	△3,185 (98.6%)
	外来 (人)	504,420	505,848	△1,428 (99.7%)
診療実績	入院 (百万円)	18,861	18,195	666 (103.7%)
	外来 (百万円)	8,952	8,511	441 (105.2%)
	計 (百万円)	27,813	26,705	1,107 (104.2%)
平均在院日数 (日)		12.0	12.7	△0.7
新規入院患者数 (人)		17,053	16,405	648 (104.0%)
救急患者数 (人)		18,941	18,202	739 (104.1%)
手術件数 (件)		8,504	8,318	186 (102.2%)
診療経費 (百万円)		17,044	16,202	842 (105.2%)
	医薬材料費 (百万円)	11,021	10,279	742 (107.2%)
医薬材料費率 (%)		39.63	38.49	1.14

#### 【患者数】

入院、外来ともに減少。入院は、新規入院患者数が増加したものの、平均在院日数が短くなる中で、延患者数は減となった。

#### 【診療実績】

入院は、平均在院日数が短くなり、延患者数が減少したが、手術件数の増により診療単価が増加したこと及び新規入院患者数の増により診療実績も増収となった。

外来は、高額医薬品を用いた化学療法の増により、診療単価が増加し、診療実績も増収となった。

#### 【診療経費】

高額医薬品や高額医療材料を用いた診療の増加により、医薬材料費が増加し、診療経費も増加した。

■北部医療センター

○診療実績

		30年度	29年度	増 減
患者数	入院（人）	76,720	79,594	△2,874（96.4%）
	外来（人）	144,494	145,163	△669（99.5%）
診療実績	入院（百万円）	4,065	4,112	△47（98.9%）
	外来（百万円）	1,910	1,810	100（105.5%）
	計（百万円）	5,975	5,922	53（100.9%）
平均在院日数（日）		11.8	13.1	△1.3
新規入院患者数（人）		6,526	6,457	69（101.1%）
救急患者数（人）		12,765	12,927	△162（98.7%）
手術件数（件）		3,140	3,126	14（100.4%）
診療経費（百万円）		3,235	3,249	△14（99.6%）
	医薬材料費（百万円）	1,610	1,562	48（103.0%）
医薬材料費率（%）		26.95	26.38	0.57

【患者数】

入院、外来ともに減少。入院は、新規入院患者数が増加したものの、平均在院日数が短くなる中で、延患者数は減となった。

【診療実績】

入院は、新規入院患者数や手術件数を増加させたため診療単価は増加したものの、平均在院日数が短くなる中で、延患者数が減少したことにより、診療実績は減収となった。

外来は、高額医薬品を用いた化学療法が増により、診療単価が増加し、診療実績も増収となった。

【診療経費】

高額医薬品を用いた診療の増加により、医薬材料費が増加した一方で、減価償却費が減少したため、診療経費も減少した。

## 平成30年度京都府公立大学法人決算について

【貸借対照表】

(単位：百万円)

項 目	30決算	29決算	増減	備 考	
資産	固定資産	35,351	29,494	5,857	
	有形固定資産	33,693	28,611	5,082	
	土 地	57	57	0	
	建物、構築物 (仮勘定を含む)	24,812	22,827	1,985	最先端がん治療研究センター現物出資に伴う増(2,589) 附属病院D3精神科病棟改修工事に伴う増(498) 府立大学和食文化学科開設に係る改修に伴う増(147) 附属病院手術室増室工事費の増(90) 減価償却累計額の増(△1,609)
	機械・装置	3,958	125	3,833	最先端がん治療研究センター陽子線治療装置の譲与に伴う増(3,859)
	工具、器具、 備品	2,991	3,780	△ 789	附属病院X線撮影装置等の整備に伴う増(54) 府立大学核磁気共鳴装置整備に伴う増(25) 府立医科大学高速液体クロマトグラフ質量分析計整備に伴う増(20) 北部医療センターX線撮影装置整備に伴う増(28) 減価償却累計額の増(△1,466)
	図 書	1,771	1,718	53	
	美術品	98	98	0	
	車両等	4	3	1	
	無形固定資産	1,305	501	804	附属病院電子カルテシステム整備による増(746) 北部医療センター電子カルテシステム整備による増(389) 減価償却による減(△331)
	投資、その他	352	381	△ 29	
	有価証券	120	130	△ 10	
	長期未収入金	232	251	△ 19	
	その他	0	0	0	
	流動資産	12,825	11,559	1,266	
	現金及び預金	4,867	3,470	1,397	府借入金の借入れによる現金の増(1,763) 府借入金の償還のための現金の減(△426)
	未収学生納付金	3	3	0	
	未収附属病院収入	6,965	6,806	159	附属病院診療実績増に伴う診療収益未収金の増(159)
	その他未収入金	490	779	△ 289	周産期医療提供体制整備事業費補助金未収入金の減(△190)
	有価証券	30	19	11	
たな卸資産	29	35	△ 6		
医薬品・診療材料	426	433	△ 7		
その他	13	11	2		
<b>資 産 合 計</b>	<b>48,177</b>	<b>41,054</b>	<b>7,123</b>		

負債	固定負債	19,652	14,120	5,532	
	資産見返負債	7,307	3,698	3,609	最先端がん治療研究センター 陽子線治療装置の譲与に伴う増(3,859)
	長期借入金	12,310	10,235	2,075	電子カルテシステム整備、D3精神科病棟整備に伴う 府借入金の増(2,613) 府借入金償還に伴う減(△384)
	長期リース債務等	35	186	△ 151	
	流動負債	10,923	9,726	1,197	
	運営費交付金債務	26	18	8	
	寄附金債務	2,003	1,951	52	奨学寄附金の増(52)
	前受委託研究・事業等	730	646	84	前受委託研究費の増(71) 前受委託事業費の増(12)
	未払金	6,539	5,589	950	未払金の増
	その他	1,624	1,520	104	
	負債 計	30,576	23,847	6,729	
	純資産	資本金	36,406	33,817	2,589
資本剰余金		△ 17,917	△ 16,333	△ 1,584	
資本剰余金		688	715	△ 27	
損益外減価償却等		△ 18,606	△ 17,049	△ 1,557	最先端がん治療研究センター現物出資の減価償却に伴う減
繰越欠損金		△ 887	△ 276	△ 611	
当期末処分利益		△ 887	△ 276	△ 611	当期総損失の増に伴う減
その他		0	0	0	
純資産 計	17,601	17,206	395		
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>48,177</b>	<b>41,054</b>	<b>7,123</b>		

【損益計算書】

(単位：百万円)

		③⑩	②⑨	差額	増減理由
経常費用	業務費	48,810	47,051	1,758	
	教育経費	688	717	△ 28	
	研究経費	1,218	1,155	63	
	教育研究支援経費	287	298	△ 10	
	診療経費	20,527	19,510	1,016	附属病院 医薬品費の増(381)、医療材料費の増(361) 保守委託費等の増(99)
	医薬品費	7,712	7,265	446	がんセンター 保守委託費等の増(188)
	医療材料費	4,920	4,575	344	北部 医薬品費の増(65)、医療材料費の減(△16) 減価償却費等の減(△63)
	その他	7,894	7,669	225	
	人件費	24,234	24,031	202	
	教員人件費(退手除)	7,555	7,540	14	常勤教職員人件費の増(166)
	教員退職手当	249	332	△ 82	附属病院大学院生人件費の増(85)
	職員人件費(退手除)	15,761	15,584	176	退職手当の増(10)
	職員退職手当	646	552	93	
	受託研究費	1,301	1,258	43	
	受託事業費	551	80	471	附属病院精神病棟解体工事の増(107) 北部がん診療棟整備工事の増(363)
一般管理費	837	815	21		
財務費用	27	38	△ 11		
計	49,674	47,906	1,767		
経常収益	運営費交付金	8,972	9,192	△ 220	
	学生納付金	2,045	2,037	8	
	入学考査料	51	50	1	
	入学金	226	228	△ 1	
	授業料	1,766	1,758	8	
	附属病院収益	33,705	32,605	1,099	附属病院 入院診療収益の増(641) 外来診療収益の増(441)
	入院診療収益	22,541	21,989	551	北部 入院診療収益の減(△90)
	外来診療収益	10,752	10,213	539	外来診療収益の増(98)
	受託研究等収益	1,659	1,588	71	
	受託事業等収益	551	80	471	附属病院精神病棟解体工事の増(107) 北部がん診療棟整備工事の増(363)
	寄附金収益	811	726	85	
補助金等収益	413	452	△ 38		
雑益	543	549	△ 6		
資産見返負債戻入	450	584	△ 133		
計	49,154	47,818	1,336		
業務損益	△ 519	△ 88	△ 430		
減価償却費(再掲)	2,003	2,144	△ 140		
臨時損失	91	40	51		
臨時利益	0	0	0		
当期総損益	△ 611	△ 129	△ 481		

■附属病院及び北部医療センターにおける診療実績等経営指標の推移

【附属病院の診療実績、取組等】

項目		30	29	比較	備 考	
診療実績	入院（百万円）	18,861	18,195	666	・平均在院日数が短くなり、延患者数が減少したが、手術件数の増により診療単価が増加したこと及び新規入院患者数の増により診療実績も増収となった。	
	外来（百万円）	8,952	8,511	441		・高額医薬品を用いた化学療法の増により、診療単価が増加し、診療実績も増収となった。
	計（百万円）	27,813	26,705	1,107		
入院患者数（人／日平均）		608	617	▲9人／日		
入院診療単価（円／人日）		84,944	80,784	4,160円／人日	・手術件数の増等	
病床利用率（一般）（％）		84.9	82.4	2.5％	・新規入院患者数の増	
平均在院日数（日）		12.0	12.7	△0.7日		
新規入院患者数（人）		17,053	16,405	648人	・紹介患者及び救急入院患者の増	
外来患者数（人／日平均）		2,067	2,073	▲6人／日		
外来診療単価（円／人日）		17,746	16,825	922円／人日	・高額医薬品の増	
手術件数		8,504	8,318	186件	・手術枠の効率的運用による増	
診療経費（百万円）		17,044	16,202	842	・高額医薬品や高額医療材料を用いた診療の増加により、医療材料費が増加し、診療経費も増加した。	
医療材料費（百万円）		11,021	10,279	742		
医薬材料費率（％）		39.63	38.49	1.14％	・高額医薬品の増	

【北部医療センターの診療実績、取組等】

項目		30	29	比較	備 考	
診療実績	入院（百万円）	4,065	4,112	△47	・新規入院患者数や手術件数を増加させたため診療単価は増加したものの、平均在院日数が短くなり、延患者数が減少したことにより、診療実績は減収となった。	
	外来（百万円）	1,910	1,810	100		・高額医薬品を用いた化学療法の増により、診療単価が増加し、診療実績も増収となった。
	計（百万円）	5,975	5,922	53		
入院患者数（人／日平均）		210	218	△8人／日		
入院診療単価（円／人日）		52,989	51,658	1,331円／人日	・肺がん化学療法患者等の増	
病床利用率（一般）（％）		77.4	80.2	△2.8％	・入院患者数の減	
平均在院日数（日）		11.8	13.1	△1.3日	・眼科等短期間入院患者の増に伴う減少	
新規入院患者数（人）		6,526	6,457	69人	・救急患者の増	
外来患者数（人／日平均）		592	595	△3人／日		
外来診療単価（円／人日）		13,214	12,470	744円／人日	・外来化学療法件数の増	
手術件数		3,140	3,126	14件	・眼科手術の増	
診療経費（百万円）		3,235	3,249	△14	・高額医薬品を用いた診療の増加により、医療材料費が増加した一方で、減価償却費が減少したため、診療経費も減少した。	
医療材料費（百万円）		1,610	1,562	48		
医薬材料費率（％）		26.95	26.38	0.57％	・高額医薬品の増	